

# 普 徒然寺報 Fugen



発行所: 天台宗高龍山明王院普賢寺  
発行人: 普賢寺 広報部  
〒183-0004 東京都府中市紅葉丘2-26-4  
電話 042-369-2278 / FAX : 042-336-2610  
URL : <http://www.fugenji.com>  
メール : [info@fugenji.com](mailto:info@fugenji.com)



## 流行る疫病 祈る神仏

令和二年になりました。初めて  
の寺報となります。本年も何卒  
よろしく願います。

さて、本年はねずみ年です。ね  
ずみ年は、新しい運氣のサイクル  
の年とも言われておりまして、  
植物に例えると、成長に向かって  
種子が膨らみ始める時期でもあ  
るそうです。そんな本年の大イベ  
ントと言えは、東京オリンピックでしよ  
う。しかし、そんなオリンピックを控え  
る日本を含めて世界では、ご存知の通  
り新型コロナウイルスが猛威を振るって  
おります。最近ではあまり聞かなくな  
りましたが、このような流行性で感染  
症の病気が古くは「疫病」という言葉で  
表されておりまして。疫病の歴史は人  
類の歴史と共にあり、古代メソポタミア  
文明の叙事詩や紀元前十三世紀の中国  
の甲骨文字にも疫病のことが記されてい  
ます。医学の歴史は、この疫病と共に始  
まったとも言われているのです。いくら  
科学や医療技術が進歩してもこの疫病  
は無くならず、いたちごとこのように人  
類は疫病を追いかけ続けているとも言  
てきます。

そんな疫病ですが、実は日本仏教の  
歴史とも深い関わりがあるのです。仏  
教が朝鮮、中国から日本に伝わり、仏  
像や寺を建立した際に、疫病が流行り  
ました。当時はウイルスという概念も医  
学の知識もありません。それ故、疫病  
は「たたり」という人間には不可侵の領  
域として捉えられておりました。そこで  
廃仏派であった物部氏は、「西の仏神を  
敬ったから日本の神がお怒りになってい  
る。」と述べ、仏教の弾圧に乗り出した  
とも言われております。しかし、その後  
は崇仏派の蘇我氏が、仏教を弾圧した

から、仏罰があたったと仏教を擁護す  
る声が強まったわけですね。疫病の  
原因や対処法も何も無い時代には、こ  
のように宗教との関連性が多く観察  
されるのです。

また、天台宗で有名なお大師様であ  
る元三慈恵大師様も、この疫病と深い  
関係があります。元三大師様が存命  
の時に都では疫病が猛威をふるい、  
元三大師様も疫病にかかり、大変な  
思いをされたそうです。そこで、人々  
を救うため、疫病の源である「鬼」を退  
治する「調伏」の祈願をしたのです。そ  
の祈願中の鏡に映ったお大師様の姿を  
書き表した絵が、左の鬼大師なのです。  
自らが鬼になり、疫鬼を追い払って  
たのです。この御札を玄関に貼ると、  
厄除け、疫病退散したということもあ  
り、この信仰ができたと言われて  
おります。

現代では、科学的根拠や対応を見  
出そうとしますが、どうにもならない  
時に頼るものが神仏であるということ  
は、古来から同じなのかもしれません。  
いくら科学の力が発展しても、疫病は  
流行り、人々を苦しませます。医学  
的な予防を完全に期した後は、ただ  
祈ることしか人間には出来ないよう  
です。自然災害も疫病も、「人類が奢ら  
ないように」と、警鐘を鳴らされている  
のかもしれないですね。  
因みに、元三大師様が一番大きなお  
像が深大寺に秘仏として祀られてお  
ります。本年は4月に特別御開帳が  
催されます。是非ご参拝ください。



河横山殿此 鬼大師

## 春季彼岸会(3/20) 東京楽竹団 法楽コンサートのご案内

「法楽」とは、お経を読んだり、楽を奏したり、和歌や芸能などを神  
仏に奉納することを指します。今回は、檀信徒でもあります橋政愛  
様が率いる東京楽竹団さんにお越しいただきまして、竹の音色を聞  
かせて頂きます。

- 日時: 3月20日(金・祝) 開演 11時45分 終演 12時30分
- 予定曲目: 「早春賦」「アンダー・ザ・シー」「じょんがら」ほか

----- 【東京楽竹団とは】 -----  
2008年結成。日本の社会に深く関わりを持つ“竹”を使い、今まで  
にない日本の音を創り出しているグループです。竹の持つ響をとこと  
ん引き出し音楽を奏でる。それは竹の新たな使い方の発信でもあり  
ます。音作りは、メンバーが竹林に入り一本一本切り出す作業から  
始まり、楽器から演奏まで一貫した“ものづくり”を特徴としています。  
オリジナル曲・アレンジ曲を取り混ぜ、自作竹楽器を中心に音楽  
性・パフォーマンス性の高い表現で、刺激と安らぎに満ちた音の世界  
を創造しています。ホールでのコンサートを始め、イベント出演、教  
育機関の芸術鑑賞会、竹楽器製作・演奏指導のワークショップなど、  
活動のフィールドは多岐に渡り、全国各地で竹の音色を響かせて  
います。現在11名の団員で活動中です。



橋 政愛



山崎 ふみこ



足本 みよ子

出身: 東京都 生年月日: 1952年11月2日  
最終学歴: 国立音楽大学器楽科打楽器専攻卒。  
1979年仮面劇「やし酒飲み」に楽師として参加、音楽監  
督であった矢吹誠氏(竹マリンバを考案)と出会う。  
その後も「横浜ポードシアター」の活動に於いて矢吹誠  
氏、入野智江とともに多くの作品に参加。  
1992年矢吹誠氏と松田惲山氏が立ち上げた「パンプ  
オーケストラ」に2008年まで在籍。  
2008年「東京楽竹団」を結成。代表に。

最終学歴: 国立音楽大学 打楽器科卒業  
入団年: 2008年  
ジャズヴィブラフォンに魅せられ、都内近郊のライブハウスを  
中心に自身のカルテットやデュオ等でライブ活動を始める。  
これまでに3枚のアルバムをリリース。作曲活動も行いオリ  
ジナルを中心に独自の音楽を表現し、全国で演奏活動  
をしている。2008年東京楽竹団設立に参加。新潟日報 文  
化面にエッセイを連載中。ホームページ <http://trill.jp>

最終学歴: 桐朋学園大学附属桐朋オーケストラアカデ  
ミー研修課程修了 入団年: 2008年  
クラシック音楽の打楽器奏者として、中国の打楽器器・  
揚琴奏者として、コンサートやCDやNHKなどのテレビ番  
組音楽の収録に参加する他、面をつけてパフォーマ  
ンスする平成伎楽団への参加など、ジャンルを問わない  
意欲的な活動を行っている。中楽演奏家国際コンク  
ール入賞。2001年よりパンプオーケストラジャパンでの  
活動を経て、東京楽竹団の設立に参加。



開創五五〇年

記念香炉寄進者御芳名

三十万円也  
青柳智久  
田島哲

二十万円也  
奥山由行

十万円也  
青木保  
石本隆章

植田義比古  
上原加津維

小笠原信行  
岡本和子

海東まさ  
北山光江

木村晴美  
古山誠

齋藤庄治  
佐俣照子

土屋俊一  
成田鉄太郎

肥田和子  
平井裕

三田久美子  
村田勝利

吉村一郎  
渡部美佐子

六万円也  
雨宮正

山口美佐

五万円也  
新井達雄  
石巻常子

内山照男  
北村晃庸

小堀信行  
鈴木静子

辻民治  
永井孝治

中田英二  
中西俊介

橋本純子  
橋本潤一

堀芳江  
山口勝

山田光男  
吉田多雅

三万円也  
青木代守

安部榮子  
新井弘之

岩崎實  
小川清

萩原元陽  
小野寺泰躬

亀田允宏  
栗原栄一郎

黒木孝子  
黒田恭成

黒鳥光江  
佐藤和男

柴田秀雄

高橋一夫  
田島好子

土肥智恵子  
中野幸雄

中村誠  
中村元一

新井田勝雄  
橋本禮子

樋口晴雄  
広瀬晋

松野勝巳  
山崎勲

山田兼充  
二万円也

秋葉武士  
江藤博文

小原修  
梶原信貴

加藤博  
北村和子

小松明  
清水一嘉

関孝之  
武井秀夫

武井誠  
中村俊治

樋口力ツ子  
平松義夫

深澤和子  
堀越邦彦

三上道夫  
湊禎子

一万円也  
明山路子  
阿部文子

雨谷恵彦  
井草広之

池田美和子  
石澤透

石澤知子  
市場美栄

猪又典子  
井村久義

大野せつ  
岡崎充

緒方民子  
岡田怜子

岡部元英  
奥澤清

小杉智一  
鬼丸吉男

貝塚健一  
貝塚駿三

海東孝昌  
梶昌夫

片岡純子  
片岡ふく子

加藤俊子  
金井香綯

菊池賢  
國井誠

小久保登  
小竹日十美

小林直人  
小谷津孝明

斎藤菊江  
齊藤良夫

酒井道央  
指田辰典

定金京子  
佐野満

代田恒子  
杉本晴美

鈴木俊男  
鈴木恵

田中勇  
田中昌子

田沼裕子  
田原豊子

田部井キヨ  
戸谷優

富山雄市  
永島勝明

中村二郎  
中村猛夫

中村素康  
西田みどり

布川眞  
蓮見茂男

畑井妙子  
花岡優

濱口十志男  
福島彪一郎

松岡久子  
松崎恵美子

三上隆司  
三上弥太郎

満岡芳美  
湊裕美

宮内幸子  
山崎晃

山崎従一  
山崎幹子

山田芳則  
山谷晃

山本公子  
山本文雄

横溝隆  
吉田恵津子

3. 初護摩厳修

1月28日に初護摩を厳修いたしました。御礼のお申込みを頂きました皆様、ありがとうございました。毎月28日は護摩祈願をしておりますので、是非お越しくださいませ。



4. グライラマ法王猊下謁見

昨年末、インド グラムサラにて、世界的宗教指導者であるグライラマ法王猊下に各国の僧侶と共に謁見する機会を頂きました。法王猊下のお話で印象に残ったお話は、「21世紀の信仰」、「多様社会における調和」、「慈悲の重要性」でした。詳細をお知りになりたい方は、常寛までお尋ねください。



Info

1. お寺掲示板を毎月掲載しております！

昨今、ニュースでも取り上げられている「お寺掲示板」ですが数年前から毎月更新しております。ホームページに毎月掲載しておりますので、遠路の方はどうぞのぞきにいらしてください。  
www.fugenji.com



2. おてらおやつクラブ 発送

秋季彼岸会にお供えさせていただきましたお菓子を、地元府中のこども食堂を展開する「こどもの居場所づくり@府中」さんにお渡ししました。ハロウィンパーティーで子どもたちが喜んでくださったのご報告をいただきました。



敬称略  
五十音順